

## アスパラガス伏せ込み促成栽培の収穫が進んでいます

南佐久地域では、野菜の長年の連作に起因する病害が課題となっています。また、規模拡大により、従業員を通年雇用する経営体も増加しており、冬期に行える農作業の必要性が高まっております。

そこで、佐久農業農村支援センターでは、令和2年度より重点的な普及活動の一環として、レタスやハクサイとは異なり、冬期でも農作業が行える「アスパラガス伏せ込み促成栽培」の現地適応性について検討を行っています。

作業の流れとしては、播種（2月下旬）→定植（5月上旬）→根部掘り取り、ハウス内へ伏せ込み（11月下旬）→収穫開始（12月上旬～）となっており、現在は順調に収穫が進んでおります。

この取り組みを皮切りとして、今後も南佐久地域に適した新品目の導入について更なる検討を行っていきたいと考えております。



収穫が始まっている伏せ込み促成アスパラガス